



病めるカイゼル

獨逸皇帝病篤し
皇太子及び二皇子の召還

海牙電に、獨逸皇帝の病状は、公報に於て、發熱せるに依つて見ても、重なるが如く、病氣は喉部にて、口熱あり、二名の侍衛、時時側を離れず看護し居り、皇太子及び二名の皇子は、之れが爲め、柏林に召還されたり。

あはれ離行かすの嘆

病床のあたり悲しき聲
病室のあたり悲しき聲、獨逸皇帝の御重なる病状、獨逸國民の心を、深く打つてゐる。獨逸國民は、獨逸皇帝の御重なる病状、獨逸國民の心を、深く打つてゐる。獨逸國民は、獨逸皇帝の御重なる病状、獨逸國民の心を、深く打つてゐる。

月白し、歡びの歌聲

古典的な聖誕祭の儀式
美しき灯の夜

明治神宮西教會堂の聖誕祭は、廿四日の夜、十二時から催された。此の夜、風は静か、空は美しい。月光と星の光が、教會堂の窓から、庭に降り注ぎ、美しき光景を呈した。

金塊百萬圓

八坂丸積載貨物
有り、其價一萬圓に達す

獨逸郵船の八坂丸が、昨日本日、東京に到着した。此の船には、金塊が積載されてゐる。據報、此の金塊の價は、一萬圓に達する。此の金塊は、獨逸の國庫に充てられるものと傳へられてゐる。

一千萬圓

八坂丸の損害
八坂丸は、昨日本日、東京に到着した。此の船には、金塊が積載されてゐる。據報、此の金塊の價は、一萬圓に達する。此の金塊は、獨逸の國庫に充てられるものと傳へられてゐる。

四人組の強盗

は、昨日本日、東京に到着した。此の船には、金塊が積載されてゐる。據報、此の金塊の價は、一萬圓に達する。此の金塊は、獨逸の國庫に充てられるものと傳へられてゐる。

火間に於て盜難に罹る
りし大事件あり、右郵便車は、大府府大郵便車、昨日本日、東京に到着した。此の車には、金塊が積載されてゐる。據報、此の金塊の價は、一萬圓に達する。此の金塊は、獨逸の國庫に充てられるものと傳へられてゐる。

官金失竊
廣州火災にて
八千七百圓損失

廣州の火災は、昨日本日、東京に到着した。此の火災は、廣州の官金に被害を及ぼした。據報、此の官金の損失は、八千七百圓に達する。此の官金は、獨逸の國庫に充てられるものと傳へられてゐる。

賊屋根より落
ちて泥鼠

二十三日午後、廣州の賊屋に、泥鼠が落ちた。據報、此の泥鼠は、獨逸の國庫に充てられるものと傳へられてゐる。

解警戒
二十三日午後、廣州の解警戒に、泥鼠が落ちた。據報、此の泥鼠は、獨逸の國庫に充てられるものと傳へられてゐる。

葬儀請負
造花生花裝飾品
花環花束其他供物一式

大葬社
電話二〇五番

本場みかん
(毎日數噸宛入荷)
食料品店
電話二〇五番

毛皮
廉價販賣部
京坂本町三丁目(京坂銀行前)

桑苗
京坂線大田驛前
電話二〇五番

東洋製菓株式會社出張所
大田驛電話二〇五番

支店
支店
支店

診察時間
初診の御方は可成り前中
午後六時

西の風情
電話二〇五番

新歐北方の風土に吹雪を習し、腐敗の穢日、を過ぎ眺め美しき瑞雪諸の國を遊へ十一月十一日瑞典のストックホルムに著せしストックホルムは北バルト海に面しメラル湖十數島嶼の上に降り風光頗る佳絶にして實に北方ベニス

に見て人心癒やかに各望の生産を營み居る樸安戰國の人民の羨望の的となれるも無理かなら事なり、實に

現今のストックホルムは南露の金持連の避難所の如き處あり恰も夏期に於ける海水浴場の輻輳するが如く空

の稱に非かず云ふは人口三十四萬歐洲戰亂以前は獨逸と露西亞との間に貿易盛なりしを戰亂發後は獨逸との交通貿易殆ど斷絶したるを聯合國殊に露西亞に對しては同市の特産物たる砂糖、橡革、織物等の輸出旺盛を極め又同地の造船工場は何れも戰亂を極め鐵工場の如き晝夜休止の狀態へまゝなり狀况なり余は當地に本陣を定めて方々を駆け廻ぐらんとす風景の佳麗のみならず市街整然として清潔に雪をふたす北の山形を來れる旅行者に取つては實にエデンの園もたならずと感ぜられいよよく晴き北地に在るが如き威は毛頭も有る事なし歐洲の北西に在りて有史以來未曾有の大觀を他事家と云ふ空家、前と云ふ部屋は栗中流以上の露國人の家族を以て押められ居るも當地に避難し來る程の國の戰禍は忘れたるものゝ如く海濱に公園に打ち連れて散歩し喜戯する者甚だ多しされど彼等も戰亂の日に聯合軍の兵はざる面白からず揭示通報を捉はざる間何れも愛の雲の漂はざる者鮮なり此等避難の非常多く入込みたる日の短きと隨天少なき事とは樂しき美しきストンホルムの爲め甚だ惜しむ事に成す（全川集林野動物通の二）

米價の前途に於ては到底之れを斷
の適確に達する事能はざるは勿論に
して余は唯往來の経過によら以て意
見を述べたは大正四年度の経過を見
るに大正三年度の大量作な日本は
勿論我國輸入に於ても既往に見ざる處
の大量作にして實米の潤餘なる實に
意外の事にして大正三年の年末に於
ては釜山に於ける米價は其平均七圓
九十四錢にして之れを同年一月の平
均相場十四圓八十七錢に比すれば實
に六圓九十三錢の安値を現はしたり
之れ即ち大量作を意味して以て斯く
の如き非常なる低落を來したり斯く
調節の實行と共に又復米價は實米
販られて五月以降は九圓臺に低
したり而して大正四年度の米作も
時は豊作を唱へて前年度に大量な
收米を見るべく唱へたりしが
其豫想は反して收米時
に入りて水害及び蟲害等のため減
を呼び遂に輸入當時は益々減收を
進たりし其結果に於ては釜山に於
ける米價を望みし如き何分前年度米
の豊盛にして如何に減收するも猶ほ
り得るものにして別に見るべき升
を來すに至らず十一月末より十二
に入りて俄然

の如き現象は

▲實に未曾有の事にして如何に大正三年度の米米豐登たるを見るに足るべきものと云ふべし故に來る大正四年度は尙低落を見るべきものと信じてありし然るに大正四年の一月に至りて其想案は當らずして却つて昂騰を來し八圓九十六錢の平均相場を一月に於て顯に二月よりは遙に十圓五十五錢と反比例に昇進を見るに至れり斯く世人の豫想に反し昇進したる原因は決して實米の不足によりて昇進したるに非ずして政府が米價調節を問題に上せたるに外ならず然れ共米價調節が如何なる方法によるかは更に判明せざる尚に於て斯く

▲日本の買注文 多きに至るに茲に十二月は十一月の米價平均見たり之れ朝鮮米の改良に伴ふ發の向上と其日本の需用に適するた良を進めしむるの結果に外ならず之れを以て米穀検査の實施によるものに外ならざるものと信ずるなやとて多大の低落はなきものと信ずるものにて第一朝鮮米が如くに需要を擴張せられ

るやを見るも明かなり

す現に日本の需用は勿論昨年未にては海外に之米の輸出の約なりたれに應じたり之れ朝鮮米が各地の米の結果として從來に比し乾燥の良なるものあるに依るものにして從來

公州年未財三

し初め昨年比し何等特色を
もつるも數年泰極に見る市況概
況入を以てその命脈を隔ち得
られし公州も金融組合員の企
業公州貯金會等設立により
未資金に充當する金融も見る
貯金會の將來銀行と爲り現在
八金融界に一大活路を見出し
立消費地といへる公州を生
にせしめ得るも數年後に見ん
支店のあるぞと到底公州經濟
の所なく別途何かの
商業資金調達を得て興業に
て産業資金調達の一面に金融の綫
へたるに起因するを要するに
似たりし爲めにもよるべし然

平壤畜産組合にては豚の飼
育すると共に豚肉の利用及び
肉すは喫察の急務なるを以て
煙肉製造の試験を爲しつゝ
本年も昨年よりの繼續事業と
平壤畜産組合
業成績は良好

東京債券現物特電	東洋拓殖 朝鮮銀行 朝鮮銀行 朝鮮銀行 朝鮮銀行	二十四日出張價(前日の比較)	六九.〇〇 一一三.〇〇 一一三.〇〇 一四五.〇〇
東公債直取引電	二十四日出張價(前日の比較)	九四〇.〇〇 八三〇.〇〇 九五〇.〇〇	九五.〇〇

深川在米特電

[illegible][illegible][illegible][illegible]

り、又洋布、洋紙、洋品等を輸入するに
由來、本町は世界列島の供給を米國
と一手に委託せ居る程の如き實情を
見て、意の國々米國相手を釣上げ來
るに、本町内計組織も當然に相違し
き上、往來一月以來の暴落相場は
の賠償を納する程にて、最近に
一躍百餘倍に及ぶが如き相場に
者、其盤想にも及ばざりし處
王其の狂言を、東利高成村は、
人其の狂言を、東利高成村は、
料によりて、其の空前の高値を
餘分に引上げ、按に本年一月中の
平均相場と、其の相違を比較し、
品は空の如し

品名	一月平均	現在
板	五圓五	十二圓五

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

▲新甫氣配強
 本年一月陽曆の翌四月、
 の如く標準的な新米と並正
 年である。米の品質は前年
 年度の物に劣る。米人の知

[illegible][illegible]

取引成爲如何
 味と思はれ
 味と思はれ

前夜會後
 前夜會後

納會場
 納會場

二月
 二月

段値均平
 段値均平

仁川米豆
 仁川米豆

取引成爲如何
 味と思はれ
 味と思はれ

前夜會後
 前夜會後

納會場
 納會場

二月
 二月

段値均平
 段値均平

仁川米豆
 仁川米豆

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

百七十五萬圓といふ
 といふは、其の賣入
 の相対といふもので、何
 等の高價に上るに懸る
 のに照して、刻刻として
 品として、斯くして、
 公共物として、斯くして、
 のなるを、加増せざるは
 しかば、其の減少の
 少くは、今日、時
 のもの、其の
 成らざる、不可なり

[illegible]

本町二丁目有樂館
電話三六六

浪花軒番屋一休悟道樂館
小栗判官京山愛子金太郎
宇都宮的太井長藤三郎寅次郎

居の大富貴
新天下大活劇
悲劇の親
悲劇の助
非常の長行

五回
五巻
全四卷
一回の連続

壽館

活劇 人情 給 最終尺

[illegible]

三〇番江戶
 新嘉坡（食）
 東京茶會
 義烈百樂
 山葵為伴
 四頭仕度
 壽座
 六幕
 御成座
 全七場
 新芝郎
 ハツペリ
 御贈答品は

[illegible]

町田野國總下
造釀門衛右郎七木茂
店約特城京
目丁一町治明
店商野牧
番三五二話電



損の中年はる誤を擇撰の油醬
油醬クハキ品絶の一唯東關へ給み試
石千二萬六額年りた冠に國全高造釀
りけ基に力買購の大最は高造釀の大最
證實の越優質品は力買購の大最

第八十四席

急御熱が激しくなりま

美「好い、工合に射留めた……」美作
美「ハッ下此點は其方に遣はすぞや」
美「エ恐れ入りました御坐る」下「飛
んで來つて、降りの途端に射留めた
のぢや、美恐れ入つたる御馳達折角
御織の轡を頂戴仕り、有り難き仕
合せにございます。其の下、下野守
殿、御恰へになりましたか御馳病が
ムームと御起りになる」「オウ是は」
庄作御押申し上げ、美作に渡してあ
つた鞍籠を受取其中より丸轡を取出
して上座上げる。一層寄附されて御殿
（御歸りになる。然るに其夜になる
と、下野守極苦しみには御坐いまし

本場
年末の贈答品には
實用向きの
ち、ね銘仙
珍柄豊富
二丁目
愛媛八幡會

一室に籠つて、若殿様の提燈を帶
給終張に控れて居る。父の正左衛
が父・倅・庄・ハイ父・何れも近こ
腰した正・ハイ父・何れも近こ居
か正・若殿様の御機嫌を尋ひ申し上
ります。父「ム左衛門、其方だけは
の人とはびと恐れ多いことを申上

酒清等
本莊酒
丁酉年六月四日

の撞球界
の泰斗
玉乃一
熊著

菊判上製三百餘頁
總口一ス美裝函入

定價壹圓五拾錢
☐ 郵稅本社會負擔 ☐

著者玉乃氏は球界の泰斗にして吾球界の爲に貢献する者たるは、荷きキウウを手にする者にして、
 問ふに、いふべし。而して今日斯界に有名なる山村、友行等の一流の諸選手、皆氏の教を受けたる者
 なし。就中數年來歐米の如き各國を往來する世界的大選手の稱號を爭ひ、山田浩二氏（本書には山田氏の序文あり）
 の如き最、永く玉乃氏の薰陶を受けたる一人なり。而して山田氏の現時世界
 第一は、釋せる所の如き玉乃氏の就き斯技の蘊奥を究めしに因らずんばあらず
 歐米選手多し、學理と實地と兼備し、人に教ふる妙を得たる蓋し玉乃氏の右
 に出る者なかるべし。氏今本書に於て斯技の二十年來研究せる撞球の理論と方
 法に就て細大漏す所なく、我中讀く所、氏が初學者を導く懇切丁寧、實に斯技の精微なり
 技の秘訣を披瀝するに選手に對する指南車たり。初學者は之によりて斯技の速
 年難解の疑團を氷解すべ實に是れ球界空前の大名著なり。

大取次所 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

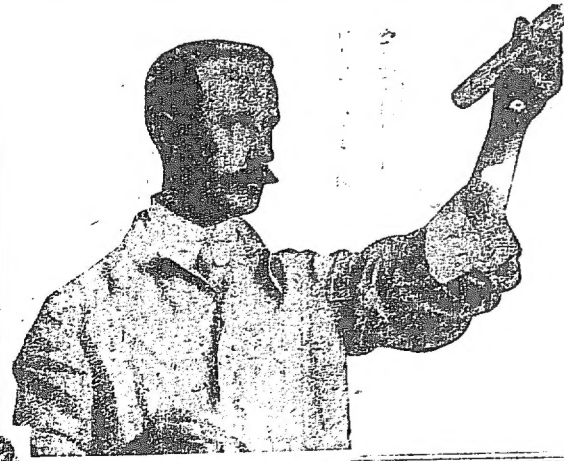
間に一番信用の厚い

最新最良の

クラブ歯麻石

齒の良くなる理想の歯磨はクラン歯磨

使へば使ふ程化學的に
齒が強く美しくなるは
齒磨中の齒磨たるクラブ
齒磨の大なる特長なり



大船 泰皇島行
 河丸 十二月廿七日 正午出帆
 島丸 十一月十二日 正午出帆
 九丸 一月十三日 正午出帆
 船丸 二月十三日 正午出帆
 船丸 三月十三日 正午出帆
 船丸 四月十三日 正午出帆
 船丸 五月十三日 正午出帆
 船丸 六月十三日 正午出帆
 船丸 七月十三日 正午出帆
 船丸 八月十三日 正午出帆
 船丸 九月十三日 正午出帆
 船丸 十月十三日 正午出帆
 船丸 十一月十三日 正午出帆
 船丸 十二月十三日 正午出帆

[illegible][illegible]

須藤南翠作

申さう。此儀挂て承引在らせと

「此れに居りまする」
心得ぬあの闇の聲、疾う斥候せし
「ハッ」と對へて立ち出でた。

[illegible]

銚子港
田中

立蕃釀造

酒精アルコール
 仁村北町電話六五〇番 電話(少) 振替口座京城五八二三番
 直輸入元 坂倉伊平商店
 京城吉野町一丁目(電話二四四一番)

銚子港
田中玄蕃
釀造

田
仁多醬油

代理店
發售
賣正
元宗

山邑
京城支店

金牌
 文領
 上酒壹升
 付に四拾錢
 御飲は按に
 割引可致候
 酒造元
 中井酒造場
 京城柳井町二丁目
 電話百七十七番
 清酒美
 淋憐酌

諸君
 均用
 洋藥
 賣藥
 却問屋
 山岸
 醫藥部
 器械部
 電話
 二二六
 山岸天祐堂
 地方通信販賣致居候
 東京町目録局前
 總切町畔、迅速確實に市内配達及び

內科
小兒科
入院隨意
中島醫院
院長 中島貞信
電話三七八番
寄附町三丁目(元津屋町松原)

無雙醇厚清酒

品
質
無
雙

衛生無害

首藤合名社會吟造

精白卸米賣 貴
ハービンキ 質
萬甲龜 油醬
種各一ダイサ引布矢三 種各々

朝鮮發賣

首藤京城支店

（一七七一話單）町金直

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)
酒井婦人病院
入院隨意
電話二六〇〇番

二 日 記 界 の 覇 王 出 づ 二

『我等は日本國民である』と云ふ自覺は我等が無二の光榮であり誇りであ

ります。此光榮と誇りとを毎日自覺して國民としての責任を果たさしめ

んが爲に「國民日記」と云ふものが出
來ました——「國民日記」の優美なる體

裁は世界に卓越せる我日本の自然の如く――堅牢無比なる其製本は天下無

敵の大和魂の如く――其充實せる内容が古今東西の智識を網羅して餘蘊な

きは恰も日本の文明が世界のあらゆる文化の粹を抜きたるが如し」國民

日記』は從來有り觸れた日記のやうなものではありません——眞に國民の

爲に作られた國民の日記であります
定價 金四十五錢 郵税金八錢

取次所
京城太平通一丁目
 牛營京城三〇番
 京城日報社代理部

大正五年
國民日記



酒精アルコール

直輸入元

仁術花町 電話六五〇番 寶號(少)振替口座京城五八二番
京成吉野町一丁目(電話二四四一番)

坂倉伊平商店
坂倉伊平支店

銚子港 田中玄蕃醸造

田中玄蕃醬油

京城明治町一丁目
代理店 櫻正宗 山邑 京城支店
電話八四九番
總發所 全京城七五番
金牌 受領
上酒壹升 付四拾錢
御買は特に
割引可致候
清酒美 淋焼酎 釀造元 中井酒造場
京城櫻井町一丁目 電話百七十七番

人
山岸

總切町、三連座實に市内配達及
地方通信販賣致居候
東横町丁目郵達局附

諸同地
出用速

洋藥
賣藥

却周屋

醫療及試驗器械

山岸天佑堂
電話二七六號
藥品部
器械部

敬啟者此藥水係由本主人親自監製其效如神凡患咳嗽氣喘痰多等症服之立見奇效此藥水在各處均有代售請認明商標為要此佈

大正十一年四月一日

內科
 小兒科
 入院隨意
 中島醫院
 院長 中島貞信
 京城明治町（元善興棧隣）
 電話三七八番

酒清良醇双燕

品質無双

衛生無害

造吟社會名合藤首

ハービンリキ 賣小卸米白精
萬甲龜：油醬 パービロボツサ
種各一ダイサ引布矢三 種各々

元質變鮮朝

店支城京藤首

（一七一）話電 町金直

入
院
隨
意

酒
井
婦
人
病
院

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏通過)
電話二六〇〇番



100

Journal of Management Inquiry, Vol. 19 No. 1, March 2010
DOI: 10.1177/1056492609358000
© The Author(s) 2010. Reprints and permissions:
<http://www.sagepub.com/journalsPermissions.nav>

1000



A diagram showing a single root extending from the soil surface into the soil profile. The root is depicted as a thick, curved line. The soil is represented by a dark, textured area below the surface line.